

米沢市国土強靱化地域計画（案）に係るパブリック・コメントの結果

1 募集対象計画等

米沢市国土強靱化地域計画（案）

2 募集期間

令和8年1月5日(月)～令和8年1月26日(月)

3 意見の提出者数及び件数

提出者数 1者／提出件数 1件

4 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

米沢市国土強靱化地域計画（案）に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
1	第4章	21、40 ほか	<p>米沢市国土強靱化地域計画（案）を拝見しました。一市民として、近年激甚化する自然災害に対し、「致命的な被害を負わない強さ」と「速やかに回復するしなやかさ」を目指す本計画の理念に強く賛同いたします。</p> <p>特に、基本目標にある「人命の保護」や「市民財産の被害最小化」を掲げ、冬期の雪害対策や避難所となる学校・コミュニティセンターの環境整備など、地域特性を踏まえた具体的な対策が盛り込まれている点に、将米への安心感を覚えました。</p> <p>一方で、普段システムエンジニアとして IT インフラに関わる立場から、計画にある「デジタル活用」の推進について意見を述べさせていただきます。</p> <p>現代社会において、情報通信基盤は道路や電力等の物理的インフラと並び、市民生活を維持するために不可欠な「第4のインフラ」です。</p> <p>特に第4章等で言及されている「住民データの保全」は、行政サービスの根幹であり、災害時であってもデータの消失は絶対に避けなければならない最重要課題であると考えます。</p> <p>計画案(P40等)において、各種クラウドの導入やデータセンターの活用による機能維持が明記されている点は大変心強く、その推進に大きな期待を寄せておりますが、その実現にあたっては、庁舎自体の被災も想定し、物理的に離れた遠隔地へのバックアップによる地理的冗長性を確保するなど、徹底した保全策を講じることを強く要望します。</p> <p>また、情報伝達のワンオペレーション化(P21等)のDX推進は、有事の迅速な対応に直結するため、将来的な拡張性も見据えたシステム構築を望みます。</p> <p>ハード・ソフトの両面から、災害に強い米沢市が構築されることを願っております。</p>	<p>ご意見のとおり情報通信基盤は非常に重要です。</p> <p>住民データの保全は行政機能の継続に不可欠ですので、ご意見にある地理的冗長性の確保にも取り組んでいますが、今後のシステム更新等において機能維持だけでなく、さらなる強化策についても検討していきます。</p> <p>ご意見を踏まえ、記載内容を次のとおり修正します。</p> <p>P40（住民データの保全）</p> <p>● 大規模災害時におけるデータの消失というリスクを減らすため、プライベートクラウド、ガバメントクラウド、パブリッククラウドなどの各種クラウドの導入やデータセンターの活用など、<u>地理的冗長性を確保した住民データ保全の強化を推進する。</u></p>	有